

自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

*Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety*  
(L) (I) (O) (N) (S)

## 会長基本方針 (2010.7~2011.6)

- 1.省エネやエコ対策等の環境保全普及
- 2.国際関係、LCIF、青少年海外派遣への参加・協力
- 3.青少年健全育成並びに薬物乱用防止
- 4.三献運動の推進
- 5.MERL活動の推進(会員増強、維持)
- 6.例会100%出席と魅力ある例会を目指す

駒ヶ根ライオンズクラブ会報 第132号

■発行日／平成23年2月4日 ■発行者／駒ヶ根ライオンズクラブ 会長 吉澤正敏 ■編集責任者／PR・IT委員長 野村 肇  
■事務局／駒ヶ根市上穂栄町3-1 駒ヶ根商工会館4F TEL.0265-83-7806 FAX.0265-83-8386  
■制作／アド・プランニングCo.,Ltd. ■印刷／株式会社 宮澤印刷

会報  
vol.132  
2011年2月

KOMAGANE LIONS CLUB

会長スローガン  
「奉仕の絆と新たな創造」

駒ヶ根ライオンズクラブは、省エネやエコ対策等の環境保全普及活動に取り組んでいます



環境クリーン全体事業

省エネ・エコ対策講演会



334-E地区1R2Z



駒ヶ根ライオンズクラブ

# 新年のご挨拶



駒ヶ根  
ライオンズクラブ  
会長  
L.吉澤 正敏

## 新春のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には心新たに輝かしい新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

今期のスローガン「奉仕の絆と新たな創造」を掲げ、環境保全普及事業を中心に執行させて戴きましたが、皆様の多大なご支援ご協力を戴き半期の事業が大過なく終了する事が出来ました。特に省エネ・エコ対策の講演会には200名の参加者があり、家庭生活に役立つ身近な講演内容に聞き入ってもらい環境意識を高めるに相応しい事業であったと思います。又、献血事業に付きましては全員の皆さんのが参加協力により順調に推移しております。残る半期の事業に付きましても無事に遂行出来ますよう皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。デフレが長期化しておりますが、安定した経済成長の回復が有ってこそボランティア活動も活発に行う事が出来ると思います。今年の干支は兎です、大きく飛躍の年であって欲しいと願うと共に、会員の皆様は元よりご家族の皆様のご健勝並びにご多幸をお祈り申し上げ更には各企業のご発展をご祈念申し上げまして、ご挨拶とします。

## 年頭にあたって

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。日頃から市政に対するご理解とご協力に対し、心から感謝申し上げます。

今日、地域経済を取り巻く環境も先が見えにくい不透明な情勢にありますが、このような時であるからこそ、会長さんのスローガンであります「奉仕の絆と新たな創造」にあるように、人と人との深い絆の下に新たな地域づくりに向けた取り組みが求められています。

本年は、地域経済を支える産業の振興と雇用の創出、安心して子育てができる環境づくり、高齢化時代に対応した介護予防や健康づくりなど、地域が元気になる施策を講じて、駒ヶ根らしい特色あるまちづくりに積極的に取り組んで参ります。

駒ヶ根ライオンズクラブの会員の皆様には、市政に対して一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、貴クラブの益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 新春のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。また平素、貴クラブの町政に対するご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

町では、今後10年間の持続可能な活力ある希望のもてる協働のまちづくりを一層進めるため、『第五次総合計画』を策定しました。計画では、「町民の暮らしを守る施策」「人口増・活性化策」を今後3カ年の最重点とし、その中でも①産業振興②地域医療確保③企業立地促進④国道153号伊南バイパス及び県道龍東線開通を重点的に進めますとともに、4つの「重点プロジェクト」を精力的に取り組み、町民の皆様の参加で町民と行政が一丸となって、希望の持てる明るい活力あるまちづくりを進めてまいります。

終わりに、一層の町政へのご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、貴クラブ並びに会員の皆様のご健勝と益々飛躍されることを心からお祈り申し上げます。

## 新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃から市政に対するご理解とご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

世界同時不況から徐々に回復しつつあるといわれる日本経済ですが、国政の混迷も相まって本年も厳しい経済状況が予想されます。一刻も早い政治経済の安定を期待するところです。

村では、4月より「人と自然にやさしい創造のみやだ」の実現に向け、第5次総合計画がスタートします。住民参画による協働のむらづくりを基本に、成果が見えるよう、知恵を出し、汗を流し、元気なむらづくりに積極的に取り組んでまいります。

結びに、貴クラブ並びに会員の皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

# 新春祝賀例会



1月7日(金)午後5時30分から、恒例の新春祝賀例会が駒ヶ根市のグリーンホテル1階大広間で開かれました。新年の幕開けを祝い、今年の奉仕活動に全力を注ぐことを全員で誓った後、L.吉澤正敏会長があいさつ。本年度の重点事業である省エネ・エコ対策の環境保全普及事業に多数の参加があり、環境意識を高めるに相応しい講演会が成功裏に終了できることを報告。そのうえで、「献血事業も順調に推移し、予定された事業が大過なく終了でき中間の決算を迎える事ができましたが、ドネーションが低調ですので干支の兎のように高く飛び跳ねて戴けますようご協力をお願い致します」と話されました。

また、吉澤会長は、景気回復が遅れている状況下では、行政と企業が一体となり経済回復を図る必要があると指摘。「行政の皆さんの一層のご協力をお願い申し上げ、今年一年皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます」と、あいさつを締めくくりました。

その後に行われた新年祝賀会には、各市町村長の代理として駒ヶ根市の本並正直副市長、飯島町の箕浦税夫副町長、宮田村の矢田典和副村長など7名の来賓が出席されました。来賓紹介、会長あいさつの後、本並副市長が来賓を代表して杉本幸治駒ヶ根市長のあいさつを代読し、祝宴が賑やかに開かれました。



新年おめでとうございます



# クリスマス 同伴例会 & 懇親会



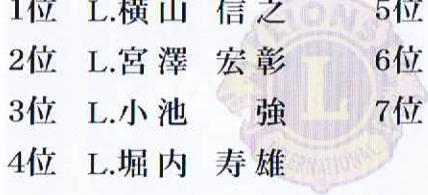
## 2009年度最多ドネーション上位表彰者

ご協力いただきまして、  
ありがとうございました。

前年度のテーラー・ツイスター  
大変ご苦労様でした。



- |            |            |
|------------|------------|
| 1位 L.横山 信之 | 5位 L.松岡 宅吉 |
| 2位 L.宮澤 宏彰 | 6位 L.松川 常夫 |
| 3位 L.小池 強  | 7位 L.奥田 憲一 |
| 4位 L.堀内 寿雄 |            |



## 在籍表彰者

駒ヶ根ライオンズクラブ  
結成47年目で、  
表彰の該当者は、  
下記15名でした。

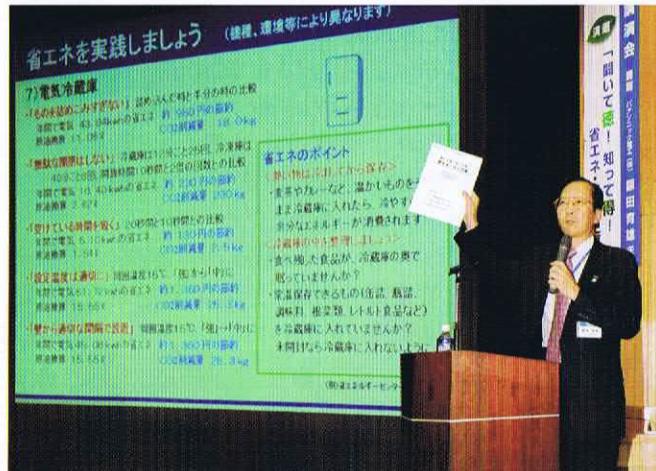
「おめでとうございました」



在籍年数	ライオン名	入会年
45年	L.池上 元久	昭和40年
40年	L.本多 繁	昭和45年
35年	L.竹村 衛	昭和50年
30年	L.堀内 寿雄	昭和55年
25年	L.大塚 善一	昭和60年
20年	L.小池 強	平成 2年
15年	L.下村 明	L.奥田 憲一
10年	L.平沢 玲子	平成 7年
5年	L.松井 良介	平成12年
	L.吉瀬 洋	L.野村 肇
		平成17年

駒ヶ根ライオンズクラブ  
環境保全普及事業

## 省エネ・エコ 対策講演会



## 本年度LCIF基金拠出協力ライオン(7名)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| L.吉澤 正敏 (2回目) | L.服部 信彦 (3回目) |
| L.米山 正和 (2回目) | L.桃澤 克芳 (1回目) |
| L.小林 清志 (3回目) | L.林 喜之 (1回目)  |
| L.山下 勉 (2回目)  | ありがとうございました。  |



省エネ・エコ対策講演会【聞いて徳！知って得！省エネ・エコ対策】を10月2日(土)駒ヶ根商工会館5階講堂において開催いたしました。講師にパナソニック電工株額田育雄氏をお招きし、地球温暖化の現状から太陽光発電・LED照明器具等省エネに関する機器の説明、各家庭で出来るチョットした省エネまで75分間にわたりパワーポイントを用いて、非常に解りやすい講演を頂きました。

一人一人また一家庭の省エネの取り組み、小さな積み重ねの運動が地球環境の保全にいかに重要なかを理解していただけたものと思います。

会員の協力によりお集まり頂いた150名の参加者の皆様には、記念品とLED懐中電灯を配布し、満足のいく講演会になったものと思います。

また、5階ロビーには株ヤマウラの省エネの取り組み、電気メーカーの協力を得て、省エネ商品の展示を行い、多くの参加者に関心を持って見ていただきました。

今回の講演会の企画・運営にあたり、会場の準備・駐車場の整理等多くの会員の皆様に協力をいただきました。あらためて、深く感謝申し上げます。

【担当:環境保全委員会】



## Act1 環境クリーン全体事業報告(平成22年9月5日)

9月5日(日)7時より恒例の全体環境クリーン事業を実施いたしました。

駒ヶ根市スポーツ少年団の子供達・指導者・保護者・クラブ会員など総勢650名の参加者の協力により和気藹々のうちに有意義な活動ができました。今後も子供達の健全育成、美しい環境作りの大切さを伝えていきたいと思います。

各作業場所ともにゴミの量が減ってきており、作業場所・内容を再検討するとともに、「リトルリーグ野球大会」「ふれあい広場」と日程が重なるため事業実施日を考慮する必要があると思います。

【清掃場所】駒ヶ根高原、特老千寿園、馬見塚公園、すずらん公園

●出席者／スポーツ少年団 保護者 監督 当クラブメンバー(総勢650名)

【担当:環境保全委員会】



## Act2 秋季ライオンズ旗争奪リトルリーグ大会(平成22年9月5日) 【担当:YCE委員会】

平成22年度ライオンズ旗争奪リトルリーグ大会が9月5日(日)駒ヶ根高原の早実グラウンドにおいて開催されました。

当日は子供達180名により午前7時から環境クリーン事業を行った後に、午前8時50分より開会式が行われました。会長挨拶、選手宣誓に続き、会長によりフォークボールでの始球式が行われ、グラウンドの3コーナーにおいて熱戦の火蓋が切られました。

7チーム出場によるトーナメント戦を行い、結果は赤石チームが優勝しました。閉会式では、三位までを表彰、その栄誉を称え賞状が贈られました。また、硬式野球ボール4ダースをライオンズクラブより贈呈しました。

【参加者】 ●選手 約180名 ●役員審判 約30名 ●当クラブより13名

【順位】 優勝 赤石 準優勝 中央 ③位 北 ④位 東 ⑤位 南 ⑥位 天竜 ⑦位 西

あの暑さの中で少年達の元気な試合態度・応援を見させてもらい私達も元気をもらいました。ご苦労様でした。



## Act3 ふれあい広場に参加(平成22年9月5日)

【担当:PR・IT委員会】

9月5日(日)環境クリーン全体事業を終え、ライオンズ旗争奪リトルリーグ大会の開会式に出席した後、第26回ふれあい広場に参加しました。当クラブからは吉澤会長以下5名が参加。会場に着くと場内ではさまざまなイベントや催しが行われ、多くの人で賑わっていました。各種出店団体の人たちと話をして交流を図ることができ、「でいい ふれあい かがやく いのち」というテーマにふさわしい広場でした。



## Act4 中央アルプス山頂美化活動(平成22年10月13日) 【担当:環境保全委員会】

10月13日(水)L.吉澤正敏会長と共に、山頂美化活動に参加しました。

約20年ぶりの登山で朝からワクワク、紅葉シーズン真っ盛りで大勢の観光客で賑わうなか、宝剣山荘までゴミを拾いながら登りました。道中、ほとんどゴミは落ちてなく、登山者のマナーの良さに感服するとともに、素晴らしい自然を守ることの大切さを痛感いたしました。

素晴らしい紅葉をみることができ、感動の1日でした。



アクティビティとは、各地区のライオンズクラブが、それぞれの地域で行うあらゆる奉仕活動のことです。大災害などが発生した場合には、全国のクラブに救援を求めることもあります、地域住民から大きな共感を得られるよう、日夜精進しています。

## Act5 駒ヶ根市立東中学校陸上部への激励金贈呈

4年連続全国中学校駅伝大会に出場することとなった東中学校陸上部の壮行会が12月15日(水)に、杉本駒ヶ根市長、北村駒ヶ根市体育協会長、竹村同窓会長はじめ多くの関係者が出席する中で開催され、駒ヶ根ライオンズクラブ吉澤会長から選手代表に日頃の練習の成果を発揮して頑張ってくださいと激励金十万円を手渡しました。

宮下千速選手代表から長野県代表として悔いのないよう戦ってきます、激励金ありがとうございますとお礼の言葉がありました。

選手の方からメッセージが届いていますので紹介致します。(※)



### (※)【全中駅伝に出場して】 駒ヶ根東中学校陸上部 福澤弘樹

僕たち駒ヶ根東中陸上部は、長野県中学校駅伝大会で優勝し4年連続の全中駅伝に出場させていただきました。

全中駅伝のコースは、アップダウンがあり、県中駅伝とはちがい、とてもきついコースです。なので、全中駅伝に向けての練習はグラウンドの周りの坂道をつかって練習してきました。

全中駅伝当日は、入賞を目指しました。ですが、結果は21位と目標に届かず全国のレベルの高さを改めて感じました。この全中駅伝に出場し、たくさんの事を学び、とても良い経験となりました。今回、自分たちが山口に行き無事に襷をつなぐことができたのは、みんなの応援、ご支援のおかげです。自分たちのために、本当にたくさんのご支援をしていただき、ありがとうございました。

今回、目標に届かなかった悔しさは忘れず先輩方の思いを引き継ぎ、またあの全国の舞台で走れるように頑張っていきたいと思います。

今回は、本当にありがとうございました。

## Act6 赤い羽根歳末共同募金贈呈

駒ヶ根ライオンズクラブでは12月15日(水)に吉澤会長をはじめ、三役にて飯島町と宮田村を訪問し、高坂飯島町長と清水宮田村長にそれぞれ金銭アクティビティとして金2万円を贈呈いたしました。

また、12月22日(水)には駒ヶ根市を訪問し、杉本駒ヶ根市長に5万円の贈呈をいたしました。各市町村長さんから、メンバー各位には常日頃行政に深いご理解とご協力を頂き、なおかつ毎年心温まる募金の贈呈に対し、お礼の言葉がありました。



▲杉本駒ヶ根市長に5万円を贈呈する吉澤会長(写真左)  
▼飯島町の高坂町長に2万円を手渡す吉澤会長(写真右)

▲吉澤会長(写真左)から2万円を受け取る清水宮田村長

## Act7 献血推進奉仕活動(平成22年7月～平成23年1月) 【担当:保健奉仕委員会】

日頃より献血採血のお手伝いに御理解と御協力をいただきありがとうございます。7月より開始した奉仕活動も前期の20回が終わり何の問題もなく後期にはいりました。1月からまた各事業所で始まります。そして4月はベルシャインで今期最後の4月29日・30日とありますので、より一層の呼びかけ等ご協力をお願いします。クラブメンバーのみなさんには、またよろしくお願ひします。

【7月から12月までの実績は下記の通りです。】

- 受付数／1004名 ●献血者／919名(採血不可85名)
  - 400mlが782名 312,800ml
  - 200mlが137名 27,400ml
- 前期の合計は、340,200mlです



# 例会報告

## 茸狩り例会 〈平成22年10月15日〉 【担当:出席委員会】

10月15日(金)午後6時より、割烹いわたや2階大広間にて茸狩り例会が、松本中央ライオンズクラブより元地区ガバナーL.和田甲子郎・L.小寺泰子会長他3名、飯田赤石ライオンズクラブより1R2ZZCのL.岩崎愈の参加をいただき、盛大に行われました。当日は早朝より、18名の皆さんのがL.下島利満の山とL.林喜之の山に分かれて茸狩りに入りました。今年は大豊作の年となり、コウタケ、クロカワと各ライオンがたくさんの茸を採り、中には松茸を一人で数本採ったライオンもあり、賑やかに山を後にしました。松茸を中心に仕入れていただいたライオンには数日前より仕入れに奮闘、近年稀にみる質・量ともすばらしい茸を用意していただき、競りでも、クラブ会員と皆様の協力で完売する事ができ、多額のチャリティー収益も計上する事ができました。メンバーの皆さん、ありがとうございました。御協力に感謝申し上げます。



## 会員卓話 〈平成22年11月5日〉 テーマ「昭和50年代を思い起こして」

菅沼ライオンは昭和38年度入会のチャーターメンバーである。1999年ゾーン・チェアマンを務められました。52年度には区長をしながら、会長を務められ、54年から市会議員を四期務め、その間副議長、監査委員、社会福祉協議会会长、議長二期を務め、自分の職業である材木の仕事と、多忙極まりない事は誰でも想像はつくのであるが、バイタリティーに富んだL.菅沼であったからこそ乗り切れたのであると感じた。第一に大事な事は体力である。そして集中力、朝の暗いうちから弁当を持って家を出て、何所かの工場の点検、現場の見回り等よく事故もなくこなしてきたものと思う。これも皆市民、友人と大勢の人達の取り巻きの方々のお陰様であったと結ばれました。職業である製材業については山からの材木が海からの輸入材となり、それも中国にとって変わられ日本の10倍もの輸入をしている。そのため今は県産材を交えながら、「最後の一社に生き残って繁盛する」を目標に努力している、と話されていました。

L.菅沼 盛和  
(会員マール委員会)



## 会員卓話 〈平成22年11月19日〉 テーマ「技術革新の荒波を乗り越えて」

IAM電子は電子部品メーカー。元をたどれば材木屋です。戦後復興などで木材屋は昭和35年頃までは活況だった。しかしその後、山木は切りつくして禿げ山となり、外材が入ってきた。外材は港から内陸の長野県に運んで製品にし、消費地の東京・大阪・名古屋などへ運搬。二重の運賃が掛かり採算が取れず、新しい仕事を模索していた時、伊那の電機部品メーカーが将来性のある新電子部品を開発したが、製品化して販売する資力がない、とのこと。ちょうど事業転換を考えていたので、工場を建て機械を設置して作り始めた。それがIAMの創業です。製品を作り開発メーカーに出荷し、代金として手形を受け取ったが、その会社は倒産。初期投資も回収できず、結局は一銭も取れずじまい。仕方なしにIAMで営業権と従業員の譲渡を受け再出発したが、製品は売れず、父親から借りた運転資金も底をついた。もう倒産しかないとと思っていた時、債権者会議で銀行の支店長が「厚膜抵抗器は将来モノになるかもしれない。山下がやるなら援助しよう」と応援を受けた。材木屋からの業種転換はこのようにして行われた。最初は営業に取り組み、早朝に家を出て売り込みに走り回った。その結果少しづつ商品が出始めた。「モジュール抵抗器」の開発は成功だった。当時、爆發的に普及しつつあった「電卓向け製品」で国内市場をほぼ独占。米国をはじめ海外でも売れ、世界シェアも8割に達した。

やっと落ち着くと思った矢先、「LSI」の登場で受注が激減した。この業界の技術革新は激しく、生き残りは大変。今回の不況でも、自動車の電子化や携帯電話のスマートフォンなど技術革新は休むことがない。今後伸びると思われるLED照明、電気自動車など将来性ある分野に生き残りを掛け挑戦していきたい、と話されました。

L. 山下 勉  
(財務委員会)



## 講師例会

〈平成22年12月3日〉  
テーマ「ライオンズクエストについて」

講師／L. 大蔵 章男  
(松本中央ライオンズクラブ)



松本キャビネット薬物乱用防止委員長L.大蔵を講師に招きお話を聞く。ライオンズクエストとはの質問に皆さんと考え込み、クエストの意味は追求する、調べる、慈愛、奉仕であり反対語は無感心である。

長野県の子供さんは全国学力テストに於いては45番であり、子供達の社会では私達の想像もつかない程変化している。特に薬物乱用がおきている。この現実を無くし自分で社会貢献のできる人間像を確立しなくてはならない。我々は社会奉仕のできる人間像を求め、愛する郷土を守る次世代の子供さんに何を残せることができるのか。このことが大切である。私達ライオンズクラブはクエストを理解することにより地域・社会を良くしていくなければならない。そんな思いを抱きながら、これからも社会奉仕活動を続けていきたいと思います。

## 新入会員ご紹介

### 新入会員のあいさつ

L. 本並 正直

歴史と伝統のある駒ヶ根ライオンズクラブへ入会させていただき有難うございます。

この地は景観も素晴らしいのですが、この地に住む人は、伝統を重んじ心の温かい方々だと感じています。私もライオンズクラブ等を通して、地域に貢献したいと考えていますので、御指導のほどなにとぞよろしくお願ひ致します。



## 駒ヶ根市の景観について(講演後の意見集約)

昨年8月20日(金)の講師例会で、「駒ヶ根市の景観について」と題し、駒ヶ根市副市長の本並正直氏(現当クラブ会員)を講師として招き、お話を聞きました。その後、9月3日の例会で、副市長の講演・景観に対するクラブとしての意見集約会を委員会別に行い、今後の市政運営の参考にしていただこうと思い、L.吉澤会長より副市長へ下記の意見集約書を提出いたしました。

①今後予想される伊南バイパス・アクセス通りを含め、主要な道路等に華美な建築物や看板等は、地元の区長様等を筆頭に何らかの規制を設ける組織が必要である。

②広域農道沿いに景観を考えた、「道の駅」を考えたらどうか。

③道路にはみ出している生垣を切るように勧めてほしい。特に通学区の中。

④古くなった看板は撤去したほうが良い。

⑤鳥獣保護区域を検討。熊・猿・鹿等対策。

会員マール委員会

①街路樹が大きすぎる。管理が大変・木の種類を考える・交通の妨げ(上穂大通り・バイパス)。

②中心商店街に花を飾っている。花いっぱいの街づくり。

③道路に植えてあるツツジの手入れが出来ていない。

④古くなった看板は撤去したほうが良い。

⑤鳥獣保護区域を検討。熊・猿・鹿等対策。

財務委員会



①道路庭木等はみ出している所が多い。

②上穂大通りの街路樹(けやき)を植え直す。

③北消防署の街路樹を撤去(すべて撤去し考え直す)。

④中沢の山中にある鉄塔(中電)の撤去。

⑤駒ヶ根東の変電施設の廃去(アルブスが見えにくい)。

⑥駒ヶ根高原の入口にあるモーテルはいらない、または周りを考えろ。

計画委員会

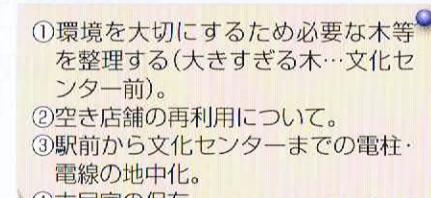
①電線を地下にして下さい(電柱はいらない)。

②環境に合わない看板を撤去。

③主要幹線道路等の土手の草刈りの徹底。

\*副市長の景観理念と毎日生活をしている地元の私達とは考えが違います。都会から来て観る美しさ「素晴らしい」と言う中には生活がありません。駒ヶ根市をどのように「環境」と言う中で「生かせるかが課題です。

保健奉仕委員会



①電柱の地中化(電線など)。

②市内8地区的景観協定を全市統一条令化。

③閉鎖した工場や営業をやめた店舗をきれいに片付ける。

YCE委員会

①オープンガーデンの奨励。

②街並みを緑あふれるものにする(自然を創る)。

③電線の地中化。

④広告の色規制。

環境保全委員会

